

備蓄型

組立式

個室トイレ

ほほ組トイレ

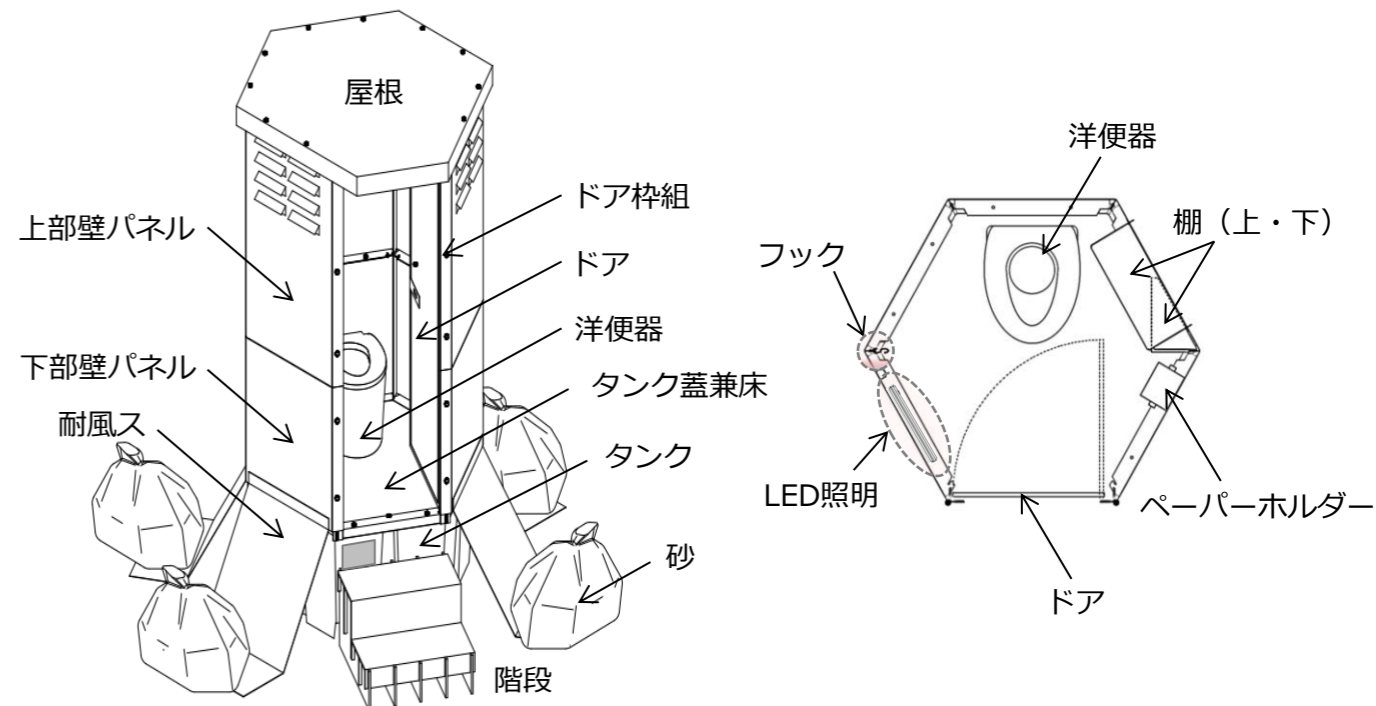
型番 : KS-117

- ・特許登録済
- ・意匠登録済
- ・商標登録済
- ・NETIS登録済

女性に優しい
災害用トイレ

洋便器
仕様

各部の名称



仕様

本体	材質・仕様
屋根	ポリプロピレン (厚: 4mm)
上部壁パネル	超耐水性板紙 (厚: 1.6mm)
下部壁パネル (耐風ステー付)	超耐水性板紙 (厚: 1.6mm)
ドア (表示鍵付)	発泡スチロール + PPシート
ドア枠組	ミルクカートンアングル (厚: 4mm)
タンク蓋 (キャップ付) 兼 床	P D C P D樹脂 (キャップ=塩ビ)
洋便器 (便座+便器) 防臭弁付	発泡スチロール + 塩ビシート
階段	強化耐水ダンボール
組立備品	材質・仕様
リベット	PBT+POM樹脂
ジョイント部材	A B S樹脂
付属備品	材質・仕様
支柱パイプ	塩ビ
ペーパーホルダー	コートボール紙
照明 / 電池	乾電池式LEDセンサーライト / アルカリ単三電池
棚	超耐水性板紙 (厚: 1.6mm)
フック	鉄 (クロームメッキ)
消臭剤	バクテリア製剤
布テープ	白色布
スプーン	ステンレススチール
砂袋	ポリエチレン

製造元・発売元 株式会社カワハラ技研

〒104-0052 東京都中央区月島2-2-10クエスト正徳201 tel.03-3532-3121 fax.03-3532-3122

組立動画



カワハラ技研



※ 記載の仕様は予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

Copyright 2022 © Kawahara Technical Research Co.,Ltd. All rights reserved.

トイレ問題

発災直後すぐに困るのはトイレ、

解決するなら



災害が発生すると

- 洪水
- 大雪
- 強風・竜巻
- 津波
- 雷
- 地震
- 土砂
- 火山現象

上下水道処理施設の
機能停止



ライフラインが復旧する期間を早い順に並べると
電気<<水道<<ガス<<下水道
下水道の復旧がもっとも困難で時間が掛かります。

水洗トイレの
使用禁止



マンション、オフィス・商業ビル、ホテル、避難所
等の水洗トイレは、発災後上下水道の健全性が確認
されるまでは使用できません。

救援物資の
輸送困難



道路交通網が断絶されると、災害前に期待していた
仮設トイレも初期1~2週間は届かないと想定して
おく必要があります。

排泄物処理ができず
二次感染



災害廃棄物や生活ごみと同様に使用済の携帯トイレ
や紙オムツも、回収まで長期間放置されて二次感染
の発生源になります。

排泄に待った無し！

救援を待たず すぐ使えるトイレが必要

解決するなら



特長

使い易さ

- 工具不要で約20分で組立
- 軽量（備蓄時32kg + 28kg → 完成時43.5kg）
- ライフライン（水道・下水道・電気等）不要
- 洋便器、ペーパーホルダー、棚、フック、LED照明は常備品
- 約1,600回分（約50人で1週間）使用可能
- 不燃ごみが出ない ※a

安心・安全

- 組立後すぐに使用できる
- 鍵付き内開きドアで防犯対策
- 人感センサー付きLED照明で夜間も安心
- 六角柱のゆとりある個室だから子供やお年寄りの
介添者も一緒に中に入れる

頑強

- 耐風試験結果：風速25m/s ※b
- 4か所の耐風ステーで転倒防止対策
- 耐水・耐風加工しているので屋外設置可能 ※c
- 床の耐荷重200kgの安定性だから子供やお年寄りの
介添者が一緒に乗っても大丈夫

衛生

- バクテリア製剤が「し尿」の菌の繁殖と臭いを軽減
- バクテリア製剤が「し尿」を水と二酸化炭素にする ※d
- 壁に換気用のガラリ付き
- し尿貯留タンク（バキューム後）含め、全焼却可能
で二次感染防止

保管(備蓄)

- 備品の入替え不要（バクテリア製剤、単三電池以外）
- 毎年の防災訓練等で組立練習ができる
- 屋内で長期保管可能
- タンクはベンチやプランター置場としても使用可能

※a LED照明、電池、フックは再利用するか分別ごみとして処理してください

※b 耐風性能試験結果は性能を保証するものではありません

※c 耐水紙は選挙用ボードに使用されている板紙と同性能です ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

※d 目安で1ヶ月（バクテリアの繁殖環境により異なります）

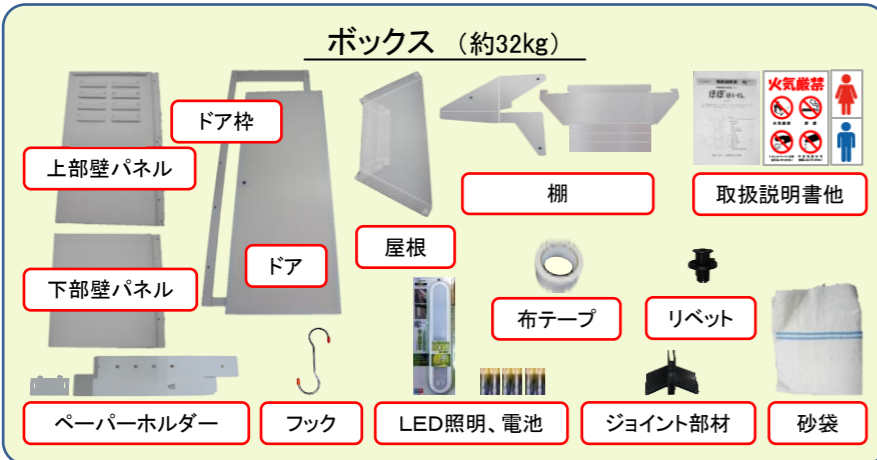


備蓄から処分まで

備蓄(保管)

- 備蓄環境 : 屋内冷暗所
- 定期点検 : 目視による外観確認
- 定期交換 : 電池、バクテリア製剤は3年毎に交換
- 梱包寸法 : ボックス / W2,060×D740×H155
タンク / W1,300×D1,120×H600

【収納内容】

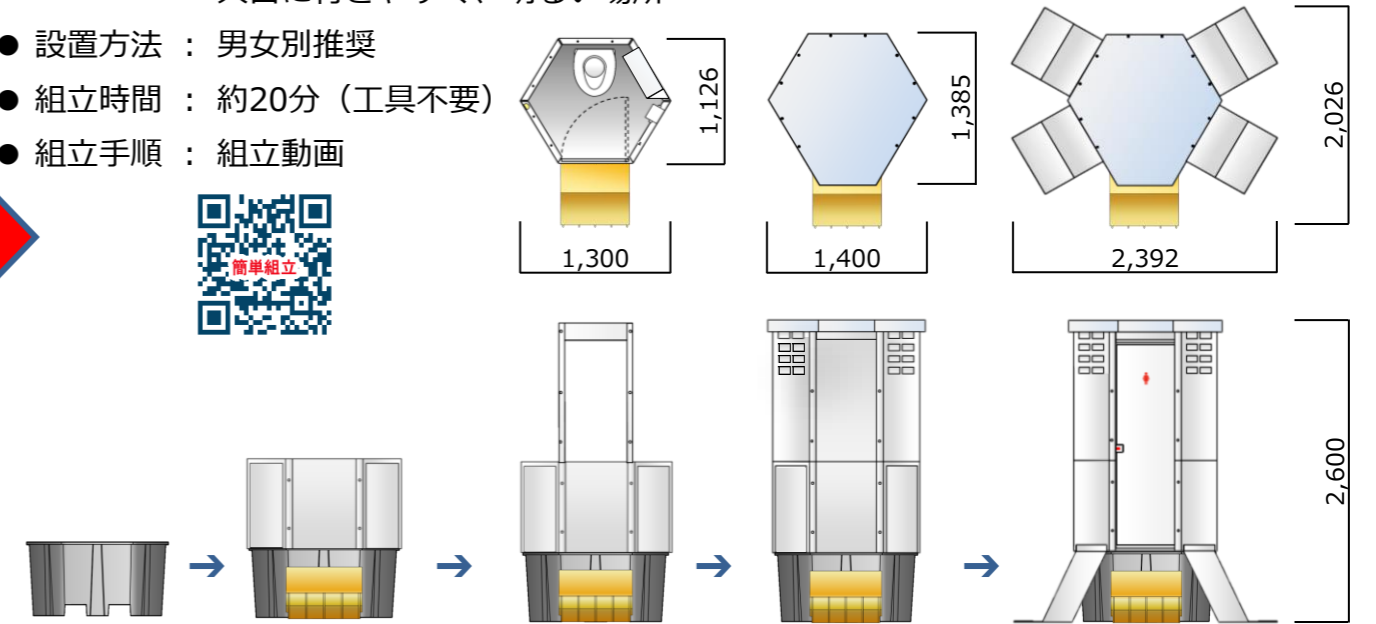


【備蓄状態】



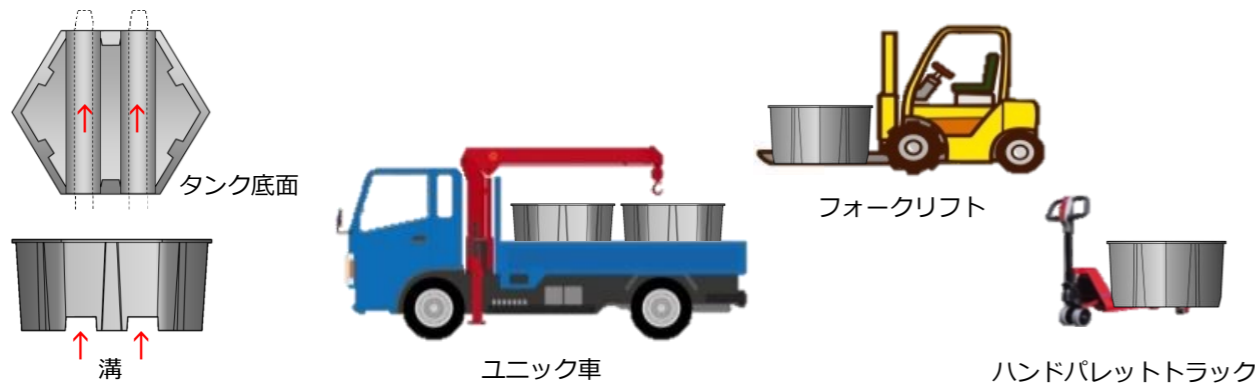
組立・設置

- 設置場所 : 屋外の水はけの良い平らな場所
なるべく風雨の影響が少ない場所
人目に付きやすく、明るい場所
- 設置方法 : 男女別推奨
- 組立時間 : 約20分 (工具不要)
- 組立手順 : 組立動画



撤去・処分

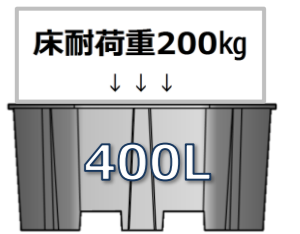
- 撤去方法 : 上屋の解体後、タンク蓋の穴を付属のキャップで塞ぎ付属の布テープで固定
- 移動方法 : タンク底面にある溝を利用して移動、運搬



- 処分方法 : **全て可燃物として焼却処分可能** (LED照明、電池、フックは除く)
- ※ 所轄自治体 (危機管理、防災等) 担当部署との事前協議に基づいて処理
- ※ 「災害時に発生する生活ごみやし尿、災害廃棄物は、全て市区町村が処理責任を有する一般廃棄物」
出展 : 災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き/令和3年3月改訂 (環境省環境再生・資源環境局/災害廃棄物対策室)

使用 (維持・管理)

- 使用期間 : ライフライン復旧までの目安として約2週間を想定
: タンク容量は50人で約1週間使用が目安
- 衛生維持 : 担当者、当番制等による定期的な清掃、消毒・殺菌
: トイレトペーパーなど消耗品の補充
: タンク容量の確認 (便器の穴から目視にて確認)
: 使用後の手洗い
- 防犯維持 : 巡回警備
- 禁止事項 : 室内及び本製品周辺での火気の使用
: 床の耐荷重200kgを超える使用
: トイレトペーパー以外の便槽内への投入
: 中性洗剤以外の使用



※ 詳しくはHP内「ほぼ紙トイレ」の「取扱説明書」「組立動画」をご覧ください →